

日本国際情報学会 国際公共政策部会第1回研究会 報告書

部会長 外村佳代子

国際公共政策部会の発足を兼ねた第1回研究部会が以下のように執り行われました。

日時：令和元年6月16日（日曜日）13時より

場所：日本ウエルネス歯科衛生専門学校

参加者：18人（欠席者2名）

次第

1. 国際公共政策部会 部会長挨拶
2. 31年度 国際公共政策部会 活動方針
 - (1) 事務局よりお知らせ（本会ならびに12月学会説明）
 - (2) 活動方針及び活動テーマについて
 - (3) 活動スケジュール
3. 基調講演 1. 松岡康彦 一般社団法人 産業精神保健機構
代表理事 精神保健福祉士
『よい職場環境作りについて
～うつ病、職場適応障害の理解、対処する方法～』
4. 研究発表
 - (1) 藤田晃太郎 瀬谷公基 『蕨市 クルド人支援の取り組み』
 - (2) 小波津ホセ 『外国人児童生徒の現状～栃木県真岡市と宇都宮大学の取り組み～』 宇都宮大学国際学研究所博士後期課程
 - (3) 坊農豊彦 『公共防災の取り組み』 財団法人関西情報センター
5. 意見交換
6. 懇親会 旬菜居酒屋 らくだの台所(東京都板橋区成増 2-10-11 IGY ビル1階)
(12名参加)

本部会は、多岐にわたる社会問題にフォーカスしており、それらの学びと研究の場を提供しています。その為今回は 世界的にも社会問題となっている「精神医学」の専門家に基調講演を依頼しました。松岡氏は増加傾向にある職場の「うつ病」、外国人技能実習生の自殺などの事象を精神保健福祉士の立場から どのように対処したらよいかなどを具体的にご教示くださいました。「うつ」の見分け方、予防など 私たちの身近な疑問にも丁寧にお答えくださり、参加者の皆様から好評でした。

研究発表には 全く違うジャンルの3組4名が発表。

「クルド人支援について」は多くの質疑応答がなされ 発表者の研究の刺激になったようです。

「外国人児童生徒の問題点について」その道の先駆者的存在の宇都宮大学が 長年研究・実験を続けている研究成果の一部を発表。

「公共防災」の必要性についても、多くの事例紹介から大変有意義な発表をいただきました。これらの研究の今後の成果を部会は さらに追いたいと思います。

懇親会は12名の参加者により大変な盛り上がりとなり、研究について更なる質問が飛び交い にぎやかな中にも大変貴重な時間を共有することができました。

